

指標 2.a.2

指標名、ターゲット及びゴール

指標 2.a.2 農業部門への公的支援の全体的な流れ（ODA 及び他の公的支援の流れ）

ターゲット 2.a 開発途上国、特に後発開発途上国における農業生産能力向上のために、国際協力の強化などを通じて、農村インフラ、農業研究・普及サービス、技術開発及び植物・家畜のジーン・バンクへの投資の拡大を図る。

ゴール 2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

定義及び根拠

- 定義
農業分野への ODA 支出総額の合計

- 概念
OECD 開発援助委員会（DAC）は、ODA を、DAC・ODA 受取国・地域リストに掲載された国及び地域、並びに、国際機関に対する資金の流れのうち、次の条件を満たすものと規定している。
 - i) 国及び政府の政府等の公的機関、またはその執行機関によって供与される。
 - ii) 開発途上国の経済開発と福祉の促進を主目的とする。また、譲許性を有し、グラント・エレメントが 25%以上（割引率 10%で算出）。
農業分野は、DAC の定義により、CRS セクター・コードの 311 台全て。

- 根拠及び解釈
開発途上国への ODA 資金の流れの合計は、ドナー国が開発途上国の農業のために提供する公的努力を測るものである。

データソース及び収集方法

OECD/DAC は公的資金及び民間資金の流れについて、1960 年から合計額レベルで、1973 年からは Creditor Reporting System を通じた案件別レベルで、データを収集している（CRS データは、約束額は 1995 年から、支出額は 2002 年から、完全なものを見なされている）。

ドナーによるデータの報告は、同一の基準及び手法で行われる。

データの報告は、国の行政機関（援助機関、外務省、財務省など）の統計報告者により、毎暦年ベースで行われる。

統計報告者は、各ドナー国機関におけるデータ収集に責任を負う。

この統計報告者は通常、国の援助機関、外務省、財務省などに配置されている。

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法

農業分野における開発途上国への ODA 資金の流れの合計

- コメントと限界

Creditor Reporting System のデータは 1973 年から利用可能。

ただし、案件別レベルのデータの捕捉が完全であると見なされるのは、約束額は 1995 年から、支出額は 2002 年からである。

データの詳細集計

この指標は、ドナー、受取国、資金種別、援助分類（プロジェクト、農業の下部セクター）などに分解可能。

参考

URL: www.oecd.org/dac/stats

参考: 全てのリンクはこちらから:

<http://www.oecd.org/dac/stats/methodology.htm>

データ提供府省

外務省

関連政策府省

内閣府、外務省、農林水産省

担当国際機関

経済協力開発機構（OECD）